

かけ足で急いでいる。高齢化社会

「若い」は、誰しも避けて通ることのできない人生の道なのです。わが国では平均寿命が年々伸び、いまや世界でも有数の長寿国となりました。

市内の六十五歳以上の高齢人口（今年三月末現在）は、四千五百五人で総人口の一二%を占めています。昭和四十五年当時は二千七百二十七人で、総人口に対して八・四%だったのが、この十二年間に千三百二十八人増え、その比率も年々高くなっています。

市の現在の高齢人口比率一二%という数字は、昭和六十年の全国推計値の九・七%をすでに大きくオーバーしていて、本市の高齢化が全国水準をはるかに上回るペースで進行していることを示しています。

一方、こうした高齢人口の増加に伴って、一人暮らしや寝たきりのお年寄りの数も年々増えていきます。今年三月末現在で一人暮らし



しのお年寄りは八十六人、寝たきりのお年寄りは九十三人となっています。

老人福祉のいろいろ

市では、お年寄りが健康で豊かな生活を送れるよう、また、寝たきりだったり、一人で暮らしているお年寄りにも、安心して生活ができるように、いろいろな仕事をしています。

健康診査

病気の早期発見、早期治療を行うため、年一回、六十五歳以上のお年寄りを対象に行います。

老人健康教育事業

医師による講演会などを開き、お年寄りの健康に関する正しい知識の普及を図ります。

老人医療費の支給（助成）

七十歳以上のお年寄り、また六十五歳から六十九歳までの寝たきりのお年寄りなどの医療費自己負担額を、公費で負担しています。

家庭奉仕員の派遣

病気などで日常生活に不自由のあるお年寄りや、一人暮らしのお年寄りの介護や身の回りのお世話をします。

日常生活用具の貸与

寝たきりのお年寄りに、頭部や足部が上下できる特殊寝台や、車

いす、エアーマットなどをお貸しします。

老人福祉電話、電話訪問

一人暮らしのお年寄りの世帯に電話を置いて、定期的に電話でお訪ねします。

寝たきり老人の短期保護

寝たきりのお年寄りの介護人が、一時的に介護できなくなったとき、特別養護老人ホームで、短期間のお世話をします。

老人クラブの育成

お年寄りの自主活動の組織「老人クラブ」の援助、育成を図っています。現在、市内には三十三のクラブがあり、三千五百人のお年寄りが参加しています。

スポーツ大会の開催・普及

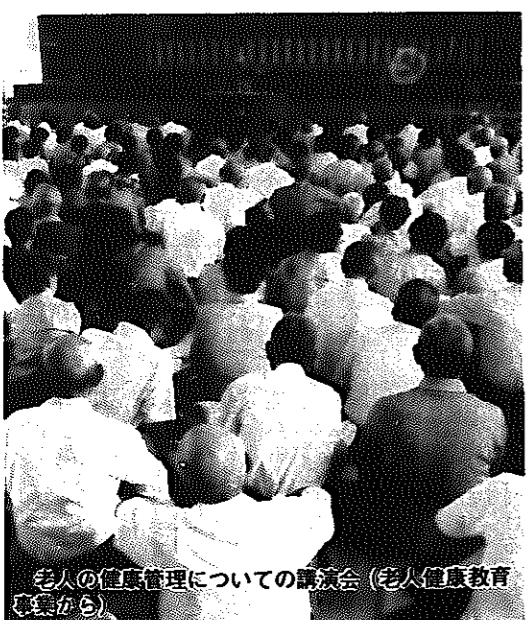
健康のためには、適度の運動を行ない、心地良い汗を流すことも大切です。老人クラブ連合会と共催して運動会の開催、ゲートボールなどスポーツの普及を図っています。

ここにあげたものは一部で、このほかに、お年寄りが少しでも暮らしやすくなるためのお手伝いをしていきます。

しかし、これですべてを満しているわけはありません。なんといたても、私たち一人ひとりがお互いに助け合う精神をもつことが大切なのではないでしょうか。

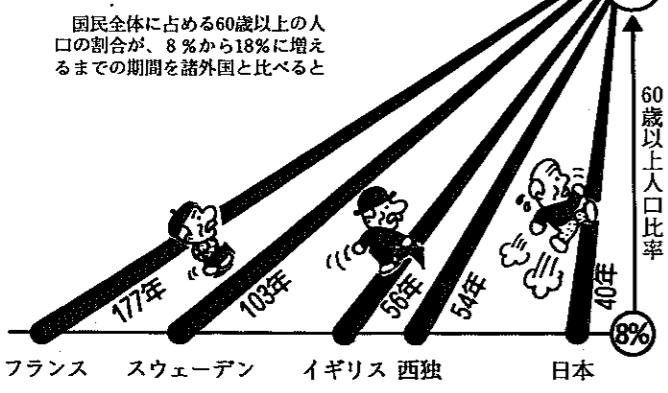


寝たきりのお年寄りを介護する家庭奉仕員

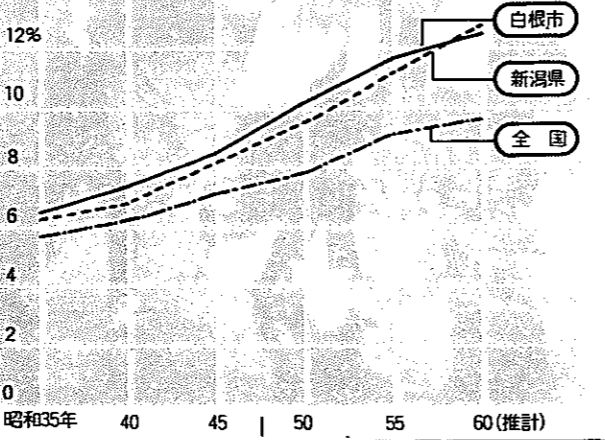


老人の健康管理についての講演会（老人健康教育事業から）

高齢化は諸外国にみないテンポで



高齢人口（65歳以上）比率の推移



変化する人口の年齢構造（白根市）

出生率・死亡率の低下により、人口ピラミッドが「富士山型」から「つりがね型」に変わりつつあります

